

| ディプロマ・ポリシー   |     | カリキュラム・ポリシー  | アドミッション・ポリシー  |
|--|-----|--|---|
| <p>本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（教育学）の学位を授与します。</p> |     | <p>本学科は、学生一人ひとりが自らのキャリアプランに則して履修することで、幅広い教養と奥深い専門的知識に基づく思考力や判断力を養い、教育・保育実践のために必要な熱意や責任感、そして技能を身につけることをめざします。本学科が掲げる教育目標とディプロマ・ポリシーを達成するため、「小学校教育コース」および「幼児教育・保育コース」という2つのコースを設け、「共通教育科目」、「基礎教育科目」、「専門教育科目」からなる教育課程を編成します。</p> <p>「共通教育科目」は、現代の教育・保育を支える幅広い教養的知識を身につけ、的確な判断力を養うとともに、人間性の涵養を図るための科目群です。</p> <p>「基礎教育科目」は主に1年次に開講され、初期演習を柱として、外国語運用能力や情報処理能力、健康や運動に関する知識や技能など、学士として必ず身につけておかなければならない資質を支える科目群です。また、両コース共通科目として開設され、教育者・保育者になるための基礎となる科目群でもあります。</p> <p>「専門教育科目」は、主に2年次以降に開講され、「小学校教育コース」と「幼児教育・保育コース」に分かれて履修します。小学校教諭あるいは幼稚園教諭としての知識・技能・態度を身につけるため、教育職員免許法に基づいた必修科目である「基礎プログラム」と、一人ひとりの「強み」を育てる選択必修科目である「発展プログラム」を設けます。いずれにおいても、教育に関する基礎理論や教科内容論に関する科目から教科指導法などの応用的・実践的な科目、そして教育・保育実習、教職実践演習というように、適切な順序性をもって開講期を設定します。</p> <p>発展プログラムでは、学生自らが「強み」を身につけるために主体的に選択して学べるように、いずれのコースにおいても多彩な選択科目を以下の8つのカテゴリーに分けて開設します。</p> <p>&lt;小学校教育コース&gt;<br/>①教育を深く知る、②国際的な視野をもつ、③子どものからだと運動、④表現力を高める、⑤子どもと科学、⑥特別なニーズと支援を知る、⑦子どもの生活と福祉、⑧幼児の教育・保育を知る</p> <p>&lt;幼児教育・保育コース&gt;<br/>①教育を深く知る、②国際的な視野をもつ、③子どものからだと運動、④表現力を高める、⑤子どもと科学、⑥特別なニーズと支援を知る、⑦子どもの保育と福祉、⑧小学校教育を知る</p> <p>なお2年次後期には、希望者を対象に、海外の教育を体験的に学び、英語運用能力を高めるMFWI留学プログラムがあります。</p> <p>また、副免許・資格プログラムとして、小学校教育コースには「幼稚園教育プログラム」と「特別支援教育プログラム」を、幼児教育・保育コースには「小学校教育プログラム」と「保育士プログラム」を設け、教育職員免許法・児童福祉法施行規則に基づいた科目を開設します。ただし、各コースで学ぶべきことを適切な順序性を持って学べるように、基礎免許のための必修科目は3年次後期の「教育実習」までに集中的に学び、副免許のための必修科目は3年次後期から4年次にかけて履修できる開講期を設定します。</p> <p>教育課程全般を通じて、グループ・ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングの教育方法も活用し、学生の理解と実践力を高めます。</p> <p>また、教育課程の評価については、卒業研究および教員免許に係る実践演習科目における学修状況をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p> | <p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>本学科が求める基礎学力とそれらを応用するための基礎的な思考力と判断力を有し、明確な目的意識を持って積極的に勉学に励もうとする意欲ある女性を受け入れます。また、本学科では能力に応じて、小学校教諭一種・幼稚園教諭一種・特別支援学校教諭一種免許状および保育士資格が取得できますが、これらの免許・資格を必要とする領域で活躍するための資質・能力を、4年間で高めようとする熱意や責任感を有する者を受け入れます。高い資質・能力を持つ教員または保育士となるためには、文系・理系という枠組みに捉われず、国語、英語、日本史、世界史、数学、化学、生物などの科目を幅広く履修し、確かな基礎学力を備えておくことを求めます。</p> |
| 1. 知識・理解   | 1-1 | 現代の教育・保育を支える教養的知識を幅広く有している。  |   |
|  | 1-2 | 教育・保育に関する奥深い専門的知識を有している。   |   |
| 2. 技能・表現   | 2-1 | 教育・保育の実践を行うために必要な技能を有している。   |   |
|  | 2-2 | 教育・保育に関わる多様な人々と積極的にコミュニケーションをとり、連携・協働することができる。   |   |
| 3. 思考・判断   | 3-1 | 国際的視野に基づいた批判的思考力および創造的能力を備えている。  |   |
|  | 3-2 | 教育・保育に関する課題解決に向けて、様々な情報を統合し、論理的な思考と理性的な判断ができる。   |   |
| 4. 態度・志向性  | 4-1 | 教育・保育に関わる熱意と責任感を身につけている。   |   |
|  | 4-2 | 教育・保育に関して、生涯にわたり学び、研究し続ける力を身につけている。  |   |